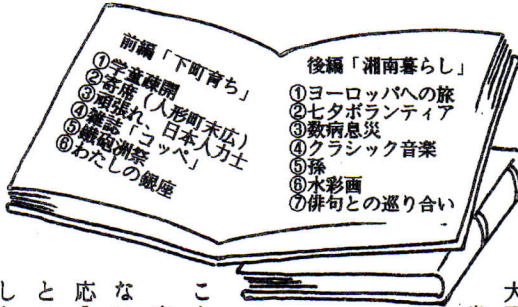


自分史的俳文集



子どもや孫達に自分の「生きざま」を書き残したかった

大野さんは昨年八月に八十歳になり、自分史を作成されました。きっかけは早く亡くなった両親の墓前に報告するためと、子どもや孫達に自分の「生きざま」を書き残したかったと言うことでした。自分本位で書くとはつまらないものになるので、読み応えのある本にしなればとエッセイに俳句を添えました。

七十歳の古希を過ぎた頃からまとめたし、七十五歳で前編の「下町育ち」を作成されました。そして八十歳のときに、後編の「湘南アマチュア無線を始めて五十年 本格的な国内外との交信」

アマチュア無線を始めて五十年 本格的な国内外との交信

中村輝夫さんは幼少時代から無類のラジオ少年で、鉱石ラジオ・アンプの組立て等に興味を持っていました。こうした興味から、昭和四十一年にアマチュア無線を始め、五十年になりました。現在も電波の届きやす

平塚MAC学習会

会員から学ぶ

人生を達観した講演に感動

三月二十三日ひらつか市民活動センターに於いて、平塚MACの学習会が二十三名の参加で開催されました。今回は講師の大野耕一さんから「自分史湘南暮らしを上梓して」と中村輝夫さんからは「開局五十年を迎えた私のアマチュア無線」について講演がありました。人生を達観した二人の講演に感動するばかりでした。

飛翔

発行責任者 平塚MAC 古和田喜昭



暮らし」を作成されました。取得しました。二級を取得した際に無線設備を購入。整備し本格的に国内・海外通信を始めました。通信の面白さは ①相手への呼び出しや相手からの要求に対して、どういう人間が出るか解らないスリリングがあること。 ②交信の後「交信証(QSLカード)」を取り交わし集める(現在六五〇枚位所持)ことです。 これからも話題が豊富になるように、あらゆることに興味を持ち、健康寿命を保ちながら開局六十周年を目指しますと決意を述べられました。

アヒルの会

春の日差しが心地好く 終って見れば日焼けした参加者

アヒルの会が三月二十九日に大熱海国際ゴルフクラブで開催されました。優勝は田辺。準優勝はゲ...

Table with 2 columns: Date and Event. Events include Golf, PC Study, Walking, Study, Salon, PC Study, and a 6-day itinerary.